



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」
～地域と共に生きる長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

第46回 中同協 定時総会 in 新潟

地域と日本の無限の未来を切り拓こう！

～ エネルギーシフトを中小企業の手で～

開催日：7月10日(木)・11日(金) 会場：朱鷺メッセ・ホテル日航新潟

第5分科会

社員と同じ目線の高さを忘れない

一人ひとりが自ら輝くきっかけづくりへの挑戦

(株)ライフ白銅 代表取締役社長
埼玉同友会 社員教育委員長

小島 秀孔 氏

大村支部 大塚 真一

第46回定時総会 IN 新潟に参加させていただきました。

小島さんはガソリンスタンドの会社にアルバイト時代をへて一般社員で入社し21年目で社長に就任されております。アルバイト時代一般社員時代そして幹部役員時代をへて社長へとそれぞれの立場を経験され社長まで任される立場になりました。それぞれの立場において感じてこられた事を今回わかりやすく報告いただきました。現在8期目ということです。総務や人事を担当した中堅時代には会社の離職率の高さに驚かされ、自らが変わらないと周りも変わっていかないとことに気付き、会社を維持発展させるには社員の育成がとても大事だということで取り組んでこられま



した。経営者が変われば社員も変わる経営指針の実践は労使の実践でもあり、社員との信頼関係に繋がっていき社員をパートナーとして企業経営を進めていくことがとても大事な事、また社員教育に取り組むためにはまずは社員全員に研修の必要性を理解してもらうことが非常に大事であるということ、そして社員一人一人を認め信頼することが大事であり、仕事を任せられる体制をつくることもとても大事なことであり、報告いただきました。また社長は社員一人一人に向かい合っていますか？という問いかけに自分はどうだろうと考えさせられました。グループ討論においても多

目次

第46回 中同協 定時総会 in 新潟 参加報告	1	増強ウィーク 開催報告	13
第17回 女性経営者全国交流会 in 熊本 参加報告	3	第1回 中同協 広報委員会 参加報告	13
例会報告	4	中同協 中小企業憲章・条例推進月間キックオフ集会 参加報告	14
会員活躍	10	中同協 全国事務局員研修会 参加報告	14
大村支部 新会員フォローアップセミナー 開催報告	11	入会・交代・復会会員紹介	15
佐世保支部 第1回 フォローアップセミナー 開催報告	11	9月例会案内	19
佐世保支部 交流イベント 開催報告	12	理事会議事録 抜粋	20
政策委員会 大勉強会 開催報告	12	会員消息・会員数	20

く意見が出ていましたが、こんなこともしてみたい
といつも思うことを、グループの方が実践されている
話を聞くと自社は何をやっているのかと本当に反省す
ることが多かったです。実践しないといけないと思い
年間の重点目標に掲げておきながら実践できていない
こと、やはり掲げた以上は実践することが大事なこと
で、来期に向けての計画を立てている中、来期は必ず
決めたことは実践していくということを、今回の全国
総会で決意しました。大変素晴らしい大会に参加で
きたことに本当に感謝しています、ありがとうございます。



第6分科会

新卒採用で、会社を変えた！

同友会で学んだ、経営者の姿勢と社員が育つ喜び

三楽園グループ 代表取締役社長
富山同友会 共同求人副委員長

坂井 彦就 氏

大村支部 金井 政春

50年に一度と騒がれた台風8号が近づき開催が危
ぶまれる中、新潟での全国定時総会へ参加して来まし
た。参加申込みが遅く、当日便の飛行機が取れなく9
日に出発した事が参加に繋がりました。しかし、飛行
機が遅れ乗り継ぎも予定通り行かず、6時間かけ新潟
に着きました。しかも、伊丹からは80名乗りのプロ
ペラ機でした。揺れに揺れて気分が悪く成りそうでし
た。機内アナウンスも気分が悪い方は座席の前の袋を
準備下さいと繰り返し案内があり、小さい子供さんは
泣いている状況でした。この様な思いをしておいての総会参
加です、当然ですが、明日に向けて気合が入りました。

坂井さんが28才で家業の温泉旅館に入社された当
時は、年配社員が多く、長時間労働は当たり前で社員
の入れ替わりが激しい会社だったそうです。その当時
は、人材確保に民間企業の求人支援活動等に年間数

百万円を使っており、2003年知人の紹介で同友会
を知り、新卒採用を目的に入会されたそうです。早速、
共同求人活動に参加され毎年新卒を採用して10年が
経過した今では平均年齢が32歳になり、自ら考え行
動する社員が増えたそうです。新卒採用の一番の目的
は家業からの脱皮だったとの事でしたが新卒を採用す
る事により、労働環境改善等に取り組まなければなら
なくなり、結果、先延ばしにしていた職場環境の整備も
進み、企業ビジョンである「社員が自慢のできる良い
会社」を目指す環境が整いつつあると笑顔で話されま
した。新卒を採用する事により同友会で言われる三位
一体（経営指針・共同求人・社員教育）の実現にも繋
がるのではと思いました。新卒採用→社員教育（育て
る）→大きい決断（市場創造・新規事業）→経営拡大
の流れを想像しました。

報告の後、富山同友会共同求人活動の取組状況の説
明がありました。合同企業説明会年5回、学内企業説
明会（学校主催）年2回、産学懇談会年2回（学校側
と企業側各50名）共同求人情報誌「ハーモニー」の
発行年2～3回（就職した学生の活躍ぶり等を掲載）
合同入社式、新入社員研修会、この他にも多くの活動
をなされているようでした。

遅ればせながら我が長崎同友会も出来る事から取組
を始めなければならないの思いを持って帰って来まし
た。

第12分科会

中小企業振興基本条例で 地域が変わった！

別海地区会の“地域に責任を持つ同友会づくり”の実践

富田屋(株) 代表取締役
北海道同友会 南しれとこ支部別海地区会 幹事長

山口 寿 氏

北海学園大学 経済学部 准教授

大貝 健二 氏

事務局 峰 圭太

中同協の定時総会に参加させていただきました。台
風の影響も心配されましたが全国から1,000名を

超える参加があり、議案の確認等また新しい学びを得
た2日間でした。

私は第12分科会に参加させていただきました。人
口15,000人の町で条例ができるまでと制定後の
施策提言など全国の中での先進事例報告を聞き、町の
規模ではなく、その運動に携わる「人」の熱意が地域
を動かすことになると実感しました。地域振興のため
に行動指針を作成し、また17項目振興策を提言した
後、8項目10事業が予算化されるなど、地域をつ
くるために産官学の連携の大切さ、条例は手段であ
りゴールではないことを確認し、またグループディス
カッションでも他県の事例等お聞きすることができ長
崎同友会にたくさんのお土産をいただきました。

いただいた資料は県の政策委員会で配布し、すでに条例が制定されている大村市のみならず平戸市、松浦市など今後制定を考えている地域にも何かしらの情報、きっかけになればと思います。

入局させていただき、全国大会に参加することも増えてきました。外形標準課税拡大問題やこの条例に関する運動など参加した先で得た学びや情報をしっかりと長崎同友会に持ち帰り、長崎をよくするために事務局としてできることを今後も追及していきたいと思えます。



第14分科会

中小企業は告発する！ 消費税8%は何をもたらしたのか

増税につぶされない経営体質・経営戦略はどうあるべきか

(株)第一経営相談所 取締役
中同協税制プロジェクト 委員
埼玉同友会 副代表理事

沼田 道孝 氏

佐世保支部 松尾 慶一

今回、私は消費税問題を選んで新潟の定時総会の14分科会に参加しました。最近良くある事だが、日程調整に気を取られ何とか福岡からの日帰り参加を強行しようと手配していたが、肝心の申し込みを怠っていた。1000名を超える全国総会に幹事会で長崎県から8名の参加要請がなされていたが7名と聞き、あと一人を願っていたら、忘れていた自分で8名の登録をクリア出来てホッとした。気持ちの中に2019年の長崎での全国大会を思うと、どれだけの動員が出来るのかが心配の種である。しかし、より良い内容を企画し良かったと感動してもらえたら良しと割切った参加でした。

一番驚いたのは、分科会の参加者が少ない事。27名ですよ。新潟の会員を除けば15名ですよ全国大会

で。こんなに少ないのについて、日本の中小企業は優良だから安心していいのだと楽観してしまうのか、危機感のなさに心配しなければならないのかが脳裏を過りましたが、それより学ぼうの精神に立ち返りました。沼田さんの「そもそも日本の税制のいい加減さ、どこから取らざるを得ないご都合主義的な税制」という表現に自分の無知を気づかされました。埼玉県で96名の社員を雇用し、経理・税務一般から幅広い分野を業務とされる中に、消費税の本質と望ましい税制を考え、私たちは、私たちの会社はどうあるべきかを検討しました。消費税が上がると消費構造が変化し二極分化が生まれる。そして消費税が適正に転嫁されているかどうか？消費税は外形標準課税と似ていて、どちらも必ず風下が絶対に損をすると言われました。

今まさに、外形標準課税への反対運動が起き始めました。埼玉同友会が先鞭を切ってその適用拡大などに反対する国会請願署名活動を7月1日から始めました。わが長崎も同様に7月理事会で決議し8月理事会でスタートします。九州沖縄ブロックも足並みをそろえて運動を展開します。私たちを取り巻く税制。法人税・法人市県民税・事業税等々、まさにこの時に新潟で学べたことに感謝します。

第17回 女性経営者全国交流会 in 熊本 参加報告

第3分科会

女性の力を生かした 仕事づくり・企業づくり

企業変革は、一人の女性社員の一言から始まった

税理士法人 久遠 代表社員

前原 幸夫 氏

(有) ライトアーム 代表取締役
岡山同友会 副代表理事・女性部長

林 明美 氏

大村支部 岩本 陽子

全国の女性経営者が九州は熊本に集う！という事を

聞き、同友会に入会して初めてこの全国交流会に参加させていただきました。

私が参加した第3分科会は会計という仕事内容も知らない中、当時たまたま就職した税理士事務所で、報告者が発した一言から別会社設立に至り、その後会社がグループ化するまでに大きく変革していった現在までの過程を赤裸々に報告して下さいました。中でも特に印象深かったのは、社員が女性であるがゆえに起こる、女性特有の問題や理想と現実とのギャップに悪戦苦闘しそれを乗り越えていかれた時の報告でした。私も何か相通じるものを感じ、とても参考になりました。

その後行われたグループ討論では、全国各地から来

られた女性経営者の方々が、自分の会社で抱える悩みを發表しあい様々な意見が飛び交っておりました。このように全国各地で活躍されている女性経営者の方々と率直に討論できる同友会ならではの、この貴重な時

間に感動した瞬間でした。

最後になりますが、このような大会に参加させていただき、多くの経営者の方々と、出会いの機会を与えて下さった当会に感謝いたします。

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	7月22日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「私達はお客さんをワクワクさせる人創り、店創りを目指して、感動を提供する会社」
報 告 者	(株)マツモト 代表取締役 松本 一孝 会員



7月22日、ギャラリーヘキサにて日本一ワクワクする会社創りを目標とする松本さんから参加者の皆様にワクワクさせるような報告が行われました。

過疎化の進む長崎において若者の県外流出率は県、市ともに全国のワースト5に入っており、松本さんは若者にとって魅力を感じない町ではないかとの視点から長崎を若者が魅力を感じる町にするため、まずは自分の会社を日本一ワクワクする会社にするという目標を掲げました。ワクワクする会社を創るために松本さんの会社で重要視していることが3点あります。

まず、批判などの外的コントロール理論でなく、相手の意見もしっかり受け止める内的コントロールを重視する。次に全責任は自分にあるとし、従業員を絶対に怒らない。責任は自分にあるとしているので、従業員から自発的に店舗の改善に向けての意見がでてきます。3点目は「ワクワク朝礼」です。この朝礼では少



し抵抗があることを毎日行い、常に元気・ポジティブシンキング・ブレイクスルーを重要視し、ネガティブな発言を禁止し、朝礼時にテンションをあげることで朝一番のお客様をお迎えする際に、初めからハイテンションで対応することができます。

常にお客さんをワクワクさせる、感動を与えるというぶれない軸に、ただ「モノ」を売るのではなく、「ワクワク」いわば感動を与えるサービスを売っているという姿勢を感じることができました。この「ワクワク」は、感動を与えるサービスの提供という視点で考えれば、サービス業など幅の広い業種において、考慮すべき大切なことであると教えられると共に、何のために？何故今の仕事をしているのかという原点に立ち返る良いきっかけとなりました。

(文責 中尾 陽一郎)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	7月24日(木) 午後6時30分
会 場	メルカつきまち5階ホール
テ ー マ	「やめるという選択」
報 告 者	(有)いろは 代表取締役 林 昭彦 会員

今月の報告者は、「有限会社いろは」の林昭彦さんでした。出島地区会員はもちろん、浦上、諫早、大村、島原、佐世保の会員や、多数のオブザーバーにも出席いただき、総勢72名というここ数年の例会にない賑わいでした。

例会前に、いろはの仕出し弁当を食べてからのスタートとなりました。

長引く不況や、デフレによる飲食業界の落ち込みの



中、なんとか利益体質に持ち込み、さあこれからだというときに、厨房機器・空調機器の故障、社員のケガ・病気、エレベーターの老朽化とさまざまな困難が襲いかかります。そして昨年の12月に、昭和38年に先代が創業され、いろはの象徴でもある本店を閉店する

という苦渋の決断をされました。解雇した社員の話や、ご家族に決断を告げた時の話などでは、言葉に詰まる場面もありました。

時代の変化が速い昨今、経営者の決断力とそのスピードが重要になってきています。「やめる」＝「逃げる」とマイナスなイメージに思われますが、「逃げ続けるということは動き続けること。立ち止まらない限り必ず自分に合う場所を見つけることが出来る。」という思いに気づき、新たな出発を決意されました。まずは、場所を移転し、採算部門である仕出し部門を継続。炉ばた居酒屋「五人百姓」も継続して営業。以前全国版のテレビでも取り上げられた「くじらしゃぶ」や、ご親族が作られている無農薬で育てた鶏卵を使った「牛鍋」など、独自メニューに力をいれて、今後は福岡進出という夢に向かって再スタートする決意を話されました。



「取り巻く人々と幸せになる。」という経営理念のもと、リスタートを決意された林さんの報告に、会場からも応援のエールと、自分自身も頑張ろうという決意の声があがり、暖かい例会となりました。

(文責 中村 真一郎)

大村支部 例会報告

日 時	7月16日(水) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	「経営指針に挑戦する！」 ～同友会活動から得た気づきと学びの実践報告～
報 告 者	(株)ヤマハマリン西九州 代表取締役 吉澤 健 会員(長崎支部 浦上地区会)

今月の例会は「経営指針に挑戦する！」をテーマに同友会活動から得た気づきと学びについて報告していただきました。

社長に就任された経緯や同友会に入会したきっかけ等から話され、同友会での活動で気付いた事や気付かされた事、すなわち学びが沢山あった事、その中で経営指針に対する考え方や重要性に気づき指針と理念を作成しそれを社内に浸透させ社員と共有する事が重要だと話されました。

同友会での気づきや学びを自社でどのように生かしてきたのかについても不離一体シートの中で、「同友会活動」「気づきと学び」「社長と会社の変化」の3本柱で説明されました。とても分かりやすく同友



会活動と会社経営は等しく重要という事が良く理解出来ました。

グループディスカッションでは学びの実践と実践している学びについて各テーブルで白熱した議論が行われていました。報告に対する質問も多くあがり、とても学びが多い例会ではなかったかと思います。

自身も経営指針と経営理念に対する重要性が良く解り、これから取組んで行きたいと思いました。

(文責 小濱 新二)

諫早支部 例会報告

日 時	7月22日(火) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	「40年間の戦力として・・・」 ～障がい者雇用を考える～
報 告 者	(有)エス・ケイ・フーズ 取締役 中村 こずえ 会員(長崎支部 出島地区会)

今月の例会は、障がい者雇用の経営体験について中村こずえさんに報告していただきました。

長崎市内近郊でマクドナルドのフランチャイズ店を

展開されておられ、現在、障がい者を10名雇用されています。障がい者雇用のきっかけは、2001年に同業他店で働いている障がい者の見学をされ、働く様子をみても「手がかかりそう」「暴れたらどうしよう」などの不安感だらけで、その時は雇用しようという気持ちはなれませんでした。6年後、再会した時にあの時の障がい者の方の成長した働く姿に驚き、自分自身の差別感に気づき、障がい者雇用を決心されます。

雇用してみると様々な問題が発生しましたが、心を開き本気で向き合うと障がい者の方の忠実に前向きに一生懸命働く姿勢で全て解決されていきます。働く職



場と、働く楽しさに出会えたことに障がい者の方は感謝されていて、それがわかるいくつかのエピソードには、会場の全ての人が涙ぐんだのではないのでしょうか。

そんな中のエピソードですが、中村こずえさんの息子さんである店長が数年前のある日、長崎には大雪予報が出ていて、翌朝の出勤が雪で、来れないかもしれないと店に泊まり込んでいました。翌朝は予報通りの大雪で坂道の道路はバスも車も通行止め。従業員からも出勤できないので休みますと電話が入り、今日は開店休業だなと外に出て降る雪を眺めていました。すると、遠くから雪の中を歩いてくる人がいました。「こんな雪の日に歩いてどこに行くのだろう。」と、思っていたら、「店長！！」「おはようございます！！」「遅れてすみません！！」と手を振って歩いて来たのが障がい者の社員の方でした。雪の中を4時間かけて歩いて来たそ



うです。その姿に店長は、号泣しました。そして、絶対に彼らを幸せにすると決めたそうです。我が子のように愛される中村さんの姿勢は、共に働く社員の方にも感動を与え、人として気づかされることがたくさんあり、人材教育にもすばらしい成果があったのではないかと思います。

これからは、もっと障がい者雇用を知ってもらうために積極的に活動していきたいという中村こずえさんの熱い思いが伝わったすばらしい例会でした。

(文責 張本 洋二)

島原支部 例会報告

日 時	7月18日(金) 午後7時
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	「若き匠の経営戦略」 ～顧客のニーズを逃さない企業連携～
報 告 者	アース建築デザイン長崎 一級建築士事務所 代表 横田 健 会員



返信率4ヵ月連続100%達成のもと、会員38名中26名出席。オブザーバー10名に参加していただき、7月例会が開催されました。

恒例の握手タイムで和やかな雰囲気になったところで、流暢な語り口で定評のある永吉例会委員長の司会で始まりしました。スローガン唱和は初めて行う松本龍亮さん。初々しく爽やかに行いました。支部長の上田五月男さんの挨拶の後、いよいよ経営体験報告。

今回は横田健さんの報告です。初めての報告という事で、報告時間が近づくにつれ緊張がピークという感じでしたが、堂々とした報告でした。

報告の内容としましては、4年間の会社勤務を経て



家業の建設業を継ぐために帰省。初代である父親との葛藤。仕事が行き詰まり苦勞して初めて気づく自社の弱点。経営の方向性が定まらない中、同友会の経営指針セミナーに参加したことが大きな分岐点となる。

その後、他社との差別化、経営体質の安定強化を図るための自社の強み・弱みを見直し、辿り着いたのが『デザイン性のある建物を地場の工務店価格で提供できること』経営理念・ビジョンをしっかりと立て、社員の幸せのために、もっと会社を大きくし、利益の出せる商品開発・提案をしていきたいと語られました。島原の誇る若手経営者の一人として、今後の活躍が大いに期待できます。

報告後「あなたの、新規の顧客獲得に向けた取り組みはなんですか」をテーマにテーブルディスカッションが行われました。2代目の若手経営者が会員に多く、共感する部分が多く、各班活発な討論が行われていま

した。質疑応答では多くの質疑が出され丁寧な回答をしていただきましたが、もっと具体的な内容を知りたかったという声も聞こえていました。

報告者・横田健さんの感想の中で、自分の過去を振り返ることによって、関わる方々への感謝の気持ちと、ほんやりとしていた考えがはっきりしてきて、今後の事業展開にも生かせるのではと、また自分の成長を感じられたと述べられました。

三田相談役の総評の中でも、体験報告をすることが同友会の活動の中でも一番勉強になる、と話をされました。また、今回オブザーバーとして参加されました、長崎支部の吉澤健さんの紹介があり、本日の島原の例

会で長崎県内全支部の例会出席を達成されたそうです。

委員会報告の中で上田支部長より外形標準課税問題についての説明があり、今後勉強会を開くなどして、正しく理解して、取り組む必要があると述べられました。

引き続き懇親会が行われ、当初予定よりも多くの会員が参加し、敷島前支部長の乾杯の音頭で開会、和やかにあつという間に予定の時間が経過し、最後は例会にちょっと遅れて出席の坂田副支部長の万歳三唱で締め、7月例会のすべての日程を終了しました。

(文責 出田 春喜)

佐世保支部 例会報告

日 時	7月18日(金) 午後6時30分
会 場	佐世保市民会館
テ ー マ	「私が整骨院として目指すもの」
報 告 者	つるの整骨院 院長 鶴野 靖久 会員



今回の報告者の鶴野靖久さんは佐世保市黒髪町にて平成3年からつるの整骨院を開業しておられ、同友会には入会されてまだ4ヶ月目の新会員の方です。

鶴野さんは、手に職を付け自分の力での上がろうと治療家の道を選ばれたそうで、常に現状に満足せず、新しいモノ、考えを取り入れられ発展を目指されておられます。

毎朝、施術前の1時間、医学書の読書による自己勉強から始まり、様々な努力で技術の向上をはかれ、異業種の集まりである同友会での学びも『大変参考になります』と報告されていました。

今後は地域にこれまで以上に根ざし、あくまで整骨院を主体としながらも、ケアマネージャーの資格も生かして介護、予防、生活支援と仕事の幅を広げていきたいとビジョンを語っておられました。これまでのように整骨院で患者様をお待ちするだけではなく、ボランティアでもいいのでこちらから地域に出向いていき、様々な活動を通して整骨院の存在意義をこれまで以上に地域の皆様に認識していただければとの思いもお持ちでした。

今回の報告の中で、【日常生活における間違っ

った』との声が出ていました。

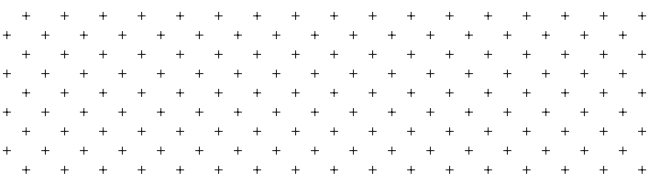
また柔道整復師（整骨師の正式名称）の目線から寝違えや肩こりを予防する枕を考案し実用新案を取得され、同考案が昨年の長崎県発明協会主催の第61回長崎県発明くふう展にて努力賞を受賞されておられます。考案を商品化していただける企業様をお探しとの事ですので、お心当たりの方はよろしくお願いたします。

グループディスカッションでは、鶴野さんは日頃から患者様からの信頼を得るために、誠実な治療と共に患者様とのコミュニケーションも重視されていらっしゃるの

『皆さんは、お客様に信頼されるためにどのような事を心がけていますか?』とのテーマで話し合いました。

様々な意見が出て、鶴野さんも『今回報告するにあたり改めていろいろと考えられた事、また皆さんからいろいろと教えていただいた事、本当に有難うございました。』と同友会に入会された事に感謝されていま

(文責 永吉 秀行)



北松浦支部 例会報告

日 時	7月24日(木) 午後7時
会 場	平戸海上ホテル
テ ー マ	「町づくりと中小企業の役割」
報 告 者	平戸市長 黒田 成彦 氏



今回の例会は、平戸市長黒田成彦氏を報告者としてお招きし、「人口減少時代にどのように向き合うか」～中小企業の役割と行政の使命～と題しまして報告をいただきました。

まず、大まかに6つの項目に分けて説明され、1番目に日本本土最西端の自治体の宿命と国の動向について話されました。人口減少についての現状把握と今後の政策では、きめ細かな政策は地方が行うべきということで、銀行に滞留しているお金を動かすために自治体が動かななくてはならない

2番目に政府の経済政策と中小企業振興基本条例の意義ということで、今回池野支部長の訪問で考えさせられた中小企業振興基本条例について、あらためて自分なりによく検討してみたことを、3.行政の役割、4.事業者の役割、5.住民の役割と三つに分けて細かく説明されました。

行政の役割としては1.) 現状認識 2.) 計画、条例の策定 3.) NPOの活用 4.) 自治体のゾーニング 5.) 大学・公的教育機関との交流。など其々について細かい説明をしていただきました。

事業者の役割については、1.) 異業種交流による



新事業 2.) 熟練社員の役割や40歳を過ぎた女性の正規採用企業の増加 3.) 従業員の社会貢献 4.) 情報の発信 5.) 商品ニーズの把握、地域にこだわる味や商品の開発を進める。などこれについても非常に解り易くご説明をいただきました。

住民の役割については、1.) 地域経済を考える 2.) 都会への就職や大学進学について 3.) 若年労働者への配慮や生活環境の向上など市長が考えるビジョンを本邦初公開で語っていただきました。

最後に6番目として、次世代地域自治のあり方として、地域内の再投資する力を蓄える事業者を応援していきたいということで、銀行がお金を貸せる事業者を行政が育てるような政策を考えているということでした。

今回の報告で感じたことは、このように自分のビジョンを市民に解り易く説明できる市長は今までいなかったんじゃないかと思います、これからも常に問題意識を持ち未来を語る市長であってほしいと思います。

(文責 山口 庄重)

五島支部 例会報告

日 時	7月15日(火) 午後6時30分
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	「同友会会員としての心得を学ぶ」
報 告 者	尾崎陶器(株) 代表取締役 尾崎 彰宣 会員(県例会委員長・佐世保支部)

今月は五島支部会員が同友会をより深く理解できるよう、それぞれの役目を務められるよう、報告者、座長、司会、グループ討論でのグループ長、発表者、グループメンバーとしての心構えや注意点などを再確認できるように、県の例会委員長の尾崎彰宣さんに報告をしていただきました。

報告では同友会の三つの目的の説明や「自主・民主・連帯の精神」についても説明いただき、その理念や信条に基づいた上で例会を行うときに、どのようなとこ



ろに注意しながら、それぞれの立場や役割を果たしていけば良いのかということで報告をいただきました。中でも、やはり例会に積極的に参加し、場数や役割をより多く担い経験を積んでいくと、自ずと解ってくるということでしたので、五島支部の会員も積極参加と、率先して役を引き受ける重要性を理解できたのではないかと思います。他にも、経営体験での報告を基本とすることで経営者として共感ができ、連帯感が生まれ相互理解が深まるということや、支部運営につ

いては、同友会での学びと会社経営、支部運営とが良好なトライアングルになって相乗効果を生むということなど、同友会での会員としての在り方の本質的な部分を多く報告していただいたと思います。

今後は、五島支部会員がこの例会で学んだことを、体験を通して実感し、同友会活動をしていけば五島支部も一歩ずつではありますが、他支部に近づけるように思えます。

(文責 勝本 政裕)



青年経営者会 例会報告

日 時	7月15日(火) 午後7時
会 場	かりーによ
テ ー マ	「続けよう、やってみよう、試してみよう」
報 告 者	(株)山晃ユニティー 代表取締役 山崎 晃 会員



7月例会は、(株)山晃ユニティーの代表取締役である山崎晃さんに報告していただきました。

山崎さんは大学卒業後、建材メーカーに就職する予定でしたが、父親の会社の新規事業を手伝うために父親の会社である(株)山晃に就職することになりました。

ただ、入社してしばらくは従来の事業である、アルミ建材の加工、製造、取り付け工事、営業活動等の一通りの業務をこなして仕事を覚えていったそうです。その後父親が先行して行っていた新規事業に加わっていくことになりました。

その新規事業というのは、アルミの建材に木目や石目柄を貼り付けるという転写建材の技術の開発であり、その事業の中で山崎さんは工場長として中心的な役割を担いましたが、業績が伸び悩み、工場閉鎖に迫り込まれます。

しかしそんな中、助けてくれる人が現れます。転写建材の技術を高く評価してくれた投資家の協力で工

場を再稼働することになり、事業を継続できるようになりました。

その後、現在代表取締役を務めている(株)山晃ユニティーを設立し、技術や権利等を父親の会社から引き継ぎ、事業の立て直しを図っていきました。そして今回の報告のテーマである「続けよう！やってみよう！試してみよう！」という言葉の通り、①転写事業の継続 ②個人及び会社のスキルアップ ③新規事業の展開、という3つの活動を柱に事業を展開していき、現在では黒字を出すまでに会社を立て直したそうです。

出席者の間からは、「何度も挫折した中からよく立ち直れたと思う」「自分だったら諦めていたのではないかな、続けていく意思の強さは尊敬できる」といった感想が出ていました。また、今回の例会は同友会会員の店をお借りして、報告と懇親会を同じ場所で行いましたが、例会出席者のほとんどが懇親会にも参加して、非常に盛り上がった例会となりました。

(文責 北川 亮)



投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数／約 500 字

●画像／歓迎します

□掲載／情報広報委員会にて選考

□投稿先／情報広報委員または同友会事務局まで

□メール／jimu@nagasaki.doyu.jp



新商品

長崎さるくマット

ダスキン栄進

TEL 823-7633

瀧川 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

プロデュースメディア

十八銀などが
私募債を受託

十八銀行は25日、プロデュースメディア(諫早市、小森健社長)が発行した保証付き私募債5千万円を、県信用保証協会と共同受託したと発表した。発行期間は2年で一括償還。発行目的は運転資金。同社は1983年設立で、自治体向けの固定資産家屋評価システムや民間向けの台帳管理システムの開発、販売などを手掛ける。

(山下陽平)

長崎新聞

7月29日

諫早支部

小森 健 会員

会員活躍

屋根借りメガソーラー

10月稼働、千葉で事業展開

諫早の日本ベネックス



日本ベネックスが屋根を使ったメガソーラー事業を行う物流施設ロジポート流山の全景
＝千葉県流山市(日本ベネックス提供)

産業機械や電子機器の製造販売を手掛ける日本ベネックス(諫早市津久葉町、小林征春社長)は21日、千葉県内で大規模太陽光発電所(メガソーラー)事業に乗り出すことを明らかにした。物流施設の屋根を借りる事業形態で、出力は2メガワット級。一つの建物の屋根を借りるメガソーラーでは国内最大規模という。

既に太陽光パネルの設置工事に入っており、千葉県流山市の物流施設「ロジポート流山B棟」の屋根約2万4千平方メートルに、約8300枚を整備する。出力は約2284キロワットで、一般家庭600世帯の年間電力使用量に相当するという。10月

長崎新聞

7月22日

長崎支部 浦上地区会

小林 征春 会員

長崎新聞

7月18日

大村支部

富永 栄一郎 会員

長崎新聞

7月18日

長崎支部 出島地区会

吉田 清規 会員

高気密・高断熱

富建が環境実験住宅

大村 エアコン1台 家中快適



富建が建設した「環境実験ハウス」

＝大村市内

建築・住宅設備機器関連の販売・施工を手掛ける富建(大村市、富永栄一郎社長)は、国内最高レベルという高気密・高断熱性で、最適な電力消費にこだわった「環境実験ハウス」を同市内に建設した。

実験ハウスは、ドイツの研究機関が確立した省エネ住宅モデルを目指して整備した。2階建てで、延べ床面積は約180平方メートル。太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用し、エアコン1台でハウス内の冷暖房を管理する。施工上の工夫により発電効果を最大化したり、樹脂製の特殊なガラスサッシを採用するなど高気密空間を実現する。

ハウスでの実験で得られた結果を基にノウハウを作成し、県内の取引先の工務店に公開、技術力アップを図る。富建の原田岳営業本部長は「断熱性能は全国トップクラスと自負している。実験で経済的で適温の心地よさと省エネを両立できる家づくりを実証したい」と話した。希望者は宿泊体験もできる。1泊2食付きで大人1500円、子ども500円。問い合わせは富建(電話0957・533・2145 平日午前10時～午後5時 受け付け)。(石丸俊也)

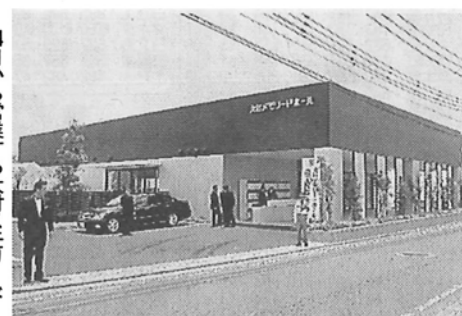
メモリードが大村に新斎場

冠婚葬祭のメモリード(長崎市、吉田茂視社長)が大村市協和町で建設を進めていた斎場「大村メモリードホール」が完成、24日に営業を開始する。同社の斎場は市内で2カ所目、県内で17カ所目。

鉄骨平屋、延べ床面積約520平方メートル。全館貸し切り型で、ホールは最大約1

50人を収容できる。建設費は約1億3千万円。17日に現地で行った完成祝賀会があり、経済人や市の関係者ら約130人が出席。吉田社長は「ゆつくりとお見送りできる施設だと思う。今後いろいろな事業を展開したい」とあいさつした。

(田賀農謙龍)



24日から営業する大村メモリードホール
＝大村市協和町

大村支部 新会員フォローアップセミナー 開催報告

日 時：7月15日（火）19時00分 会 場：富士松

梅雨が明けて真夏が到来した中、大村支部では入会3年以内の新入会員を対象としたフォローアップ研修を開催いたしました。

始めに、支部長から先に視察した福岡同友会の研修内容を反映したいとの開催への思いが語られました。そして、参加者全員が活動の手引きを傍らに、金井副代表理事による講義が始まり、同友会の歴史や理念、同友会での学び方や参加の仕方、長崎同友会の組織と役割、今後の展開や方向性について時折ユーモアも交えながら真剣なお話をいただきました。

特に同友会活動と企業経営は、車の両輪の関係で、不離一体なものであることや運動と活動の違いの解釈を踏まえて、会の活動に積極的に参加することにより何かを必ず掴んで自社に持ち帰る学びをする事が印象でした。また長崎県中小企業家同友会のビジョンも話され、全会員の経営指針作成や県内全市町村の振興条例制定と企業連携や共同求人の実現などへの思いを共有していただきました。

講義の終わりに当たっては今般の外形標準課税適用拡大に対する反対意見も共有いただき、改めて理解を

深めることが出来ました。

続いて3グループに分かれてのグループディスカッションを行いました。そこでは講義に関する感想や同友会での学び方と実践方法、同友会の会員像と具体的な心がけに関してベテラン会員を交えて話し合い、理解を深め合う時間を共有出来たと思いました。

研修会の終わりに当たっては、徳田相談役による総評をいただき、同友会に入っていなかったら今の自分はなく、また同友会は経営大学のようなもので26年間学んで、それを実践しているとの同友会での学び方を具体的にお話いただきました。

懇親会も引続き行ない、新入会員の一言タイムも行い同友会での学び方や心がけ、今後の抱負などを表明し、また諫早支部から駆けつけてくれた方々も交えて、交流の場がさらに広がりました。

今回参加できなかった新入会員に向けた次の研修会も開催して、会員全員が同友会での学び方を理解していただくように努めていただきたいと思います。

（文責 山本 進）

佐世保支部 第1回 フォローアップセミナー 開催報告

日 時：7月24日（木）19時00分 会 場：佐世保市労働福祉センター



佐世保支部として、初のフォローアップセミナーを開催しました。このセミナーは、新会員のフォロー、そのみに特化したセミナーです。

第一講では、会歴の長い川上さんに、同友会と自社の経営について話していただきました。次に同友会のDVDを鑑賞の後、今年度の佐世保支部の目玉でもある、経営指針作りセミナーについて豊福委員長よりお話ししていただきました。入会して間もない前川さんにもご登壇いただき、同友会に入って感じたことなどを新会員の目線でお話ししていただきました。

第二講では「語り合おう、自社経営の現状と課題」

をテーマにグループディスカッションをし、例会の疑似体験をしていただきました。今回、まだ例会に参加したことが無い会員の方もおり、ディスカッションの雰囲気というものがかめた事は、良かったのではないかと思います。

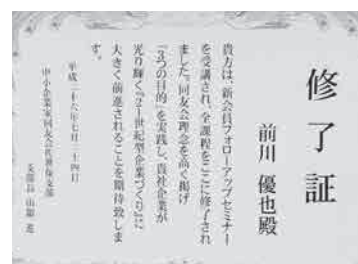
最後に、山領支部長より新会員の皆さんに修了証を贈呈し、和気あいあいとした雰囲気で終了しました。

今後も佐世保支部では定期的にフォローアップセミナーを実施する予定です。

「入ったけれど同友会の事よくわからない、」と思っている新会員の皆様！

次回フォローアップセミナーでお待ちしております！（もちろん例会の参加も！）

（文責 フォローアップ委員長 山崎 秀平）



佐世保支部 交流イベント 開催報告

日 時：7月6日（日）

企 画：（株）長崎地研（村山会員）の温泉掘削工事（ボーリング）見学及び長崎県亜熱帯植物園観光ツアー

（雨のため 長崎ペンギン水族館に変更）

日頃より、佐世保支部にてご活躍されている村山隆之さんは、野母崎温泉の掘削工事を受注され、現在進行形で工事をされております。その事を知りこの機会を逃すと生涯におきましても見学はおろか立ち会う機会も無いと思い、野母崎観光も兼ねて今回の交流イベントの内容を決定しました。

委員会にて、マイクロバスをチャーターする事を役員会にて承認いただき、定員29名の完全乗車を目指し、5・6月の例会にて参加者を募りました。

結果、新入会員及びご家族も参加いただき、大人19名・子供10名と、ピッタシの希望者が集まり定員に達しました。

当日朝、天気は生憎の・・・雨・・・観光に若干の不安を感じながらも、次々乗車され、1人のキャンセル者も発生せず、佐世保を旅立ちました。

大村サービスエリアにて、最初のトイレ休憩をしましたが、雨は止まず、野母崎は大丈夫かなあと、天候の不安が聞こえて来ながらも、①最初の観光スポット・ながさき女神大橋（愛称：ヴィーナスウイング）に到着、幸い雨が止み女神大橋をバックに写真撮影を済ませ、目的地である野母崎に向けて幸先良いスタートになりました。

②バスから、軍艦島（端島）を見ながら、いよいよ目的地である、野母崎海の健康村に到着。到着時は雨が止み、事前に事務所に準備されていたヘルメット着用にて掘削現場に潜入、潜入時は地下420mを掘削中ですと説明があり、現場員に質問すると、1本6mの杭が2時間のペースで地下に掘り進んでいますとお答えいただきました。

最終的には、地下1600m掘削予定らしく、技術力の深さに感動しました。

お昼は皆様同じ、じげもん定食を注文し美味しく平らげたのですが、会計をしようとレジに行くと、村山さんがお食事代を、山領支部長が飲料代を全員分お小遣いにてお支払してありました。その節は大変お世話になりました、皆様にかわり改めまして、御礼申し上げます。



げます。有難う御座います。

③最後の目的地である、長崎県亜熱帯植物園に向かう予定でしたが、雷含む大雨になってしまい、急遽、長崎ペンギン水族館に進路変更を余儀なくされました。ちょっと不安に思いましたが、ペンギンと直に触れ合う事もでき、皆様思いの外楽しんでいただけたように思いほっと致しました。

企画も全て終わり、無事佐世保へ戻ることが出来ました。

帰路の途中、皆様の楽しそうな会話をお聞きした限り、今回の企画にて、更に会員同士の親睦が深まったのではないかと感じた1日になりました。

今回参加出来なかった皆様へご報告です。第2回・第3回とまだまだ新たな企画を考えておりますので、次回をお楽しみに！また、会員様は勿論、今回同様ご家族の方、更にはオブザーバー様もお誘いの上多くの方に参加いただけましたら幸いです。

反省点としまして、屋外にて開催の際は雨も考慮したパターンまで考えておく必要があると本日の天候に教えていただきました。

皆様にとって、少しでも快適に日頃のストレスを忘れていただける様に頑張ります。

（文責 交流イベント委員長 片桐 孝章）

政策委員会 大勉強会 開催報告

日 時：7月23日（水）

テーマ：「私たちが動けば社会が変わる！～大村市中小企業振興基本条例制定～」

長崎同友会では憲章・条例推進月間の取り組みとして、7月23日（水）、大村市中小企業振興基本条例を題材とした大勉強会を開催。2013年12月19日に施行された大村市の条例は、当時の大村支部長：宮田正一さんと政策委員長：富永栄一郎さんが中心となり、大村商工会議所との連携から生まれました。

今回は会員のみならず県、各市の行政の方をはじめ、県議、市議、各団体の方にもご参加いただき約100名での開催。第1部の事例紹介は宮田さんと富永さんが支部レベルでの条例勉強会開催から商工会議所との連携に関するエピソード、政策委員会を中心とした素案作成から市への制定要望書提出、また制定後2回開

催された産業振興会議に関する報告がありました。

第2部は実際に大村市議として条例制定に直接かわられた大村支部：北村貴寿政策副委員長がコーディネーターを務め、大村商工会議所前副会頭：松本長康さん、大村市商工観光部長：高濱広司さんにも加わっていただきパネルディスカッションを開催。高濱部長は、最初は懐疑的だったものの同友会の熱意に共感し必要性を感じたという気持ちの変遷や、行政という立場から施策を講じ、地域を良くしていきたいというビジョンを、松本前副会頭からは、どの団体が旗を振るかということが論点ではなく、疲弊する地域にとって条例をつくり、地域を活性化するという大きな命題に対して中小企業が中心にならないといけないというそれぞれの立場から本音の話を聞くことができました。

憲章にある社会の主役としての認識を再度持ち、自

ら動くことで条例運動の更なる大きなうねりをつくるための、また新しい一歩を踏み出すことができました。

(文責 事務局 峰 圭太)



増強ウィーク 開催報告



日頃の仲間作りにご尽力いただき感謝申し上げます。皆様のおかげで楽しみながら増強期間（4/1～7/16）に新会員・復会含め537名達成となりました。種を蒔き、大切に育て大切に収穫させていただくことが増強WEEKのイメージです。表彰を「最優秀支部・地区会賞1位 諫早支部」と「スポンサー賞1位 松尾 慶一さん、2位山口 憲男さん、3位池野 晋一さん」と8月理事会で表彰させていただき大盛況でした。全会員の同友会を大切に強い思いがあり退会者が出てもすぐに修復する勢いで

す。その勢いは次の増強期間（7/17～10/6）に繋がっておりフォーラム開催で弾みがつきます。

今回の反省・教訓は①仲間づくり委員会のお知らせが全会員に伝えられてなかった②期間中に退会者が多く出た③入会候補者の各支部・各地区会の名簿共有を目指す④9/1から毎月開催の仲間づくり委員会へご出席願いを各支部長・地区会長、情報広報委員長へ伝達します⑤退会者防止策で初めは新人フォローアップセミナーから強化⑥復会会員へ復会理由をお聞きする⑦女性部会設立へのお手伝いをする⑧各委員会と連携強化

会員の皆様今後ともよろしくお願いいたします。

(文責 仲間づくり委員長 杉本 誠二郎)

第1回 中同協 広報委員会 参加報告

日 時：7月25日（金） 会 場：京都市国際交流会館

7月25日京都市国際交流会館にて行われた第1回中同協広報委員会に参加してきました。

まずは、e-doyuについて知り得た情報をお知らせします。開発破たんの理由についてはいろいろありますが、ここで述べるのは無しにしておきます。前開発会社に支払われた金銭についてですが、前開発会社との契約の中で、支払った金額に対して返還しない旨の契約条項があり、開発が頓挫した場合でも支払われないようです。

新e-doyuについては、プロジェクトチームを立ち上げ来年の10月にオープンする予定だそうです。現状は、中同協および専門家チーム・開発会社と要求定義の段階だそうです。開発会社については、経営状況から開発経験など、様々な審査をし現在の会社に決定したそうです。新しいe-doyuが出来あがるのを楽しみに待つばかりです。

それでは、議題にあった「広報活動の戦略強化に向けて」の報告をさせていただきます。まずは、京都同友会の広報委員長である小泉浩さんより、京都同友会の取り組みについてでは、紙面における会員主導の案内であったり、写真の重要性や紙面の一貫性を重視されて以前は隔月だった紙面を月刊化、それに伴う広報委員の意識の向上をされていました。また、ホームページによる会内外向けに情報の発信をするなど様々な取り組みをされていました。

「消費税増税の影響に関するアンケート調査」については、今年の6月にアンケート結果を集約し発表されました。NHKやBS11「山口義行の中小企業新聞」、読売新聞などで報道されました。成果としては、回答数が5,000件を超えた事で、「実態を反映」した調査結果として受け止められたようです。今回は期間的

に集計結果発表だけで終わってしまっていて、同友会の示す分析と報道によって示された分析の食い違いが見られたようで、集計結果の分析を示す事が大切であると認識させられたそうです。

最後にグループディスカッションのテーマである「広報活動の戦略的課題について」では、1. 広報で会員を巻き込む（機関誌の使命）2. 経営課題を集約して発信する（情報創造）3. 地域との連携作り（運動目的）と概ね3つの項目に分けて、議論が進みました。同席は東京・埼玉・大阪・香川・愛知・京都・岡山でした。機関誌の使命の中では、会合への参加の低さや支部や地区会からの委員会への派遣は新人会員が参加した際、同友会の理念を知らないの記事を書くに

しても書けない等の声が上がってきました。

また、情報創造では、BS11で試験的に経営環境を知らせる試みをされている会もありました。運動目的では、マスコミとの懇談会を定期的に行い、マスコミが必要とする企業情報などの提供もしているところがありました。そのおかげでマスコミに取り上げられる企業が増えたとの事です。

トータル4時間ほどの委員会でしたが、参考になる点は多くありました。長崎同友会でも取り入れたい事もあり、ためになる有意義な時間を過ごせた事を感謝いたします。

（文責 情報広報委員長 永末 勝宏）

中同協 中小企業憲章・条例推進月間キックオフ集会 参加報告

日 時：6月3日（火） 会 場：衆議院・第2議員会館

中小企業憲章・条例推進月間キックオフ集会に参加しましたので報告します。

第1部「中小企業憲章・条例の具現化、中小企業政策の充実をめざす取り組み報告・交流会」

1. 鋤柄中同協会長からあいさつがあり、憲章が出来て4年を経過する、キックオフ集会は3回目である。本日は中小企業庁長官の講演、関連団体4団体代表の話がある。各地同友会で真剣に活動して、行政などと一緒に手を取りあって憲章の精神を条例に結びつけている。全国の116の条例、31都道府県で条例ができています。憲章・条例の必要性、その運動を全国各地で進めることを誓いあえる集会としたい。

2. 大橋副本部長から集会の趣旨説明があり、2010年6月18日に閣議決定された憲章を国民全体の認識・国民の総意として国会決議を実現することを期待するものである。

3. 中小企業庁の北川長官の「中小企業憲章の理念に基づく政策の具現化と『小規模企業振興基本法』制定の意義」についての講演がありました。

4. 日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、全国商工会連合会、全国商店街振興組合連合会の4団体から中小企業施策充実のための重点要望を中心に報告がありました。

5. 中小企業重点施策の実現と活用の実践事例につい

て①中同協金融プロジェクト委員長の中村さんから「経営者保証に関するガイドライン」の対応・活用について②北海道同友会代表理事の守さんから中小企業振興基本条例制定と運用について③岩手同友会代表理事の田村さんから東日本大震災復興とエネルギーシフトの取り組みについて報告がありました。

第2部「中小企業憲章の具現化について各党・国会議員のご発言」

杉村憲章・条例推進副本部長から趣旨説明があり、衆参両院の経済産業委員会理事・委員を中心に25名の国会議員の熱いあいさつがありました。

最後に中同協の広浜幹事長のまとめと謝辞があり、閉会となりました。

集会終了後、会場を移し拡大中小企業憲章・条例推進本部会議が実施されました。各同友会での月間の取り組みについての発表がありました。長崎同友会からは、7月23日に大村市の条例制定の事例発表と行政も含めたパネルディスカッションを実施し、会員の意識の向上と行政への働きかけ等の勉強会を実施することを報告しました。

最後に、大林神奈川大学名誉教授のコメントがありました。同友会の存在感を示す集会となりました。

（文責 出島地区会 西尾 廣幸）

中同協 全国事務局員研修会 参加報告

日 時：7月16日（水）～18日（金） 会 場：さわやかちば県民ふらぎ

千葉での全国事務局員研修会2泊3日の基礎コースに参加させていただきました。全国から約20名の事務局員が参加し、中同協役員やお二人の会員報告（会員企業訪問含む）、先輩事務局員など合計第6講を受講し、それぞれにグループディスカッションを行いました。

同友会運動の意義、またそれぞれの時代背景など今までの歴史や理念から、同友会運動の主役である会員

とともに、事務局も運動の主体者であるということであらためて学ぶことができました。私たち事務局員も時代とともに変化、進化しなければならず、プロフェッショナルという認識を持つことの大切さ、会員企業を訪問する中で現場を見て、感じ、事例を蓄積していくこと。報告や他県の事例を聞きながらまだまだできていない点が多いという反省と、逆に今後私たちに潜在

する可能性を感じることができました。できない理由を並べず、どのようにしたらできるか、それが同友会の3つの目的達成のために運動を重ねる会員企業や地域にとってプラスの効果をもたらすことを信じ、今回得た学びと気づきを一つひとつ実践していきたいと思っています。自分の中での判断基準を同友会理念に据え、また「会員のためになっているのか」を常に自分に問いかけながら日々の仕事に生かしていきたいと思っています。

(文責 事務局 峰 圭太)



新入会員の皆さんです＜8月入会・交代・復会＞ (敬称略)

(8/20 現在入会手续お済みの方)

＜入 会＞

支 部 名	長崎支部 浦上地区会	
氏 名	えがわ まさひろ 額川 正浩	
企 業 名	(株)山商	
役 職 名		
企 業 住 所	〒852-8024 長崎市花園町 11-1	
T E L	095-862-7452	
F A X	095-864-0080	
業 種	塗料卸売業、販売業	
企 業 P R	長崎をより彩りある街並みにするためにがんばっています。	
スポンサー	山領 進	

支 部 名	長崎支部 浦上地区会	
氏 名	つじむら たかし 辻村 崇	
企 業 名	(株)オオクラ	
役 職 名		
企 業 住 所	〒851-2106 西彼杵郡時津町左底郷 1-6	
T E L	095-882-5511	
F A X	095-882-6113	
業 種	新建材卸販売	
企 業 P R	アイカ工業(株)の長崎総合代理店として、主に化粧板・キッチンパネル・新建材一式を取り扱っています。 また、(株)理研テクノシステムが開発した FTS 技術 / テラヘルツテクノロジー (環境や健康に有効な赤外線を放射する機能材料を製造する技術) をもとに製品化事業を行っています。 皆様どうぞよろしくお願い致します。	
スポンサー	辻村 栄蔵	

+++++

支 部 名	長崎支部 出島地区会	
氏 名	いけやま ゆみこ 池山 由美子	
企 業 名	(有)池山蒲鉾店	
役 職 名		
企 業 住 所	〒850-0876 長崎市賑町 4-7	
T E L	095-822-6936	
F A X	095-822-9702	
業 種	蒲鉾製造・販売	
企 業 P R	蒲鉾の製造・卸販売をしています。 鯉蒲鉾・桃蒲鉾の注文販売。 長崎市内の配送もしています。	
スポンサー	宮崎 涼子	

支 部 名	長崎支部 出島地区会	
氏 名	うめもと くにかず 梅本 國和	
企 業 名	長崎清和法律事務所	
役 職 名	共同経営者	
企 業 住 所	〒850-0876 長崎市賑町 5 番 21 号 パーク サイドトラヤビル 3 階	
T E L	095-821-1070	
F A X	095-829-0312	
業 種	弁護士	
企 業 P R	中小企業法務全般から個人、家庭の生活上の問題まで幅広く扱っております。よろしくお願いいたします。	
スポンサー	山口 憲男	

支 部 名	長崎支部 出島地区会	
氏 名	かとう あや 加唐 文	
企 業 名	楽々癒し体 Luck You	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒850-0852 長崎市万屋町 1-13 内田屋ビル 3F	
T E L	095-816-0530	
F A X	095-816-0531	
業 種	リラクゼーション業	
企 業 P R	指圧を中心に整体やリンパマッサージを融合させた独自のリラクゼーションマッサージ、アロママッサージ、フェイシャルマッサージでその人に合った癒しの時間を提供させていただいております。	
スポンサー	佐々田 剛史	

支 部 名	長崎支部 出島地区会		
氏 名	くすだ よしみ 楠田 寿美		
企 業 名	長崎ホルモン		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒850-0832 長崎市油屋町 2-41 山陶ビル 1F		
T E L	095-820-7977	F A X	095-820-7977
業 種	焼肉店		
企 業 P R	当店はホルモンと店名が付いていますが、本格七輪炭火焼きの焼肉店でございます。 各テーブルに換気扇が付いてますので洋服に匂いが付きにくいので家族や職場の方と仕事帰りに是非寄って下さい。		
スポンサー	山口 憲男		



支 部 名	諫早支部		
氏 名	まつなが ひでふみ 松永 秀文		
企 業 名	(株)ミクト		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒854-0062 諫早市小船越町 561-1		
T E L	0957-22-1542	F A X	0957-22-1592
業 種	建築業		
企 業 P R	住宅業界にて仕事を始めて 17 年が経ちました。22 歳で起業した頃は足場の強い会社しよう、技術を身に付け邁進してまいりました。お仕事をさせていただいていく中で、一番に大切にしていたもの。それは「お客様の目線にたった施工」という事でした。その甲斐あって、システムバス・システムキッチンの建設業界では、たくさんのお客様に信頼をいただく事ができました。これからも日本の建築文化の良き部分を継承しながら、お客様重視の感謝される職人集団を目指し、先進した技術を提供してまいりたいと考えております。		
スポンサー	山田 康成、石橋 ゆかり		



支 部 名	長崎支部 出島地区会		
氏 名	たなか きよたか 田中 清隆		
企 業 名	(株)TAF		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒851-0101 長崎市古賀町 1018-1		
T E L	095-839-2695	F A X	095-839-8151
業 種	建設、不動産業、建材流通業、リフォーム業		
企 業 P R	昭和 4 8 年創業。アルミサッシ販売からリフォーム、建設、不動産業と展開し、住宅関連のトータルサービス業を目指し、ワンストップコンサルを提案出来る企業を確立します。		
スポンサー	山口 憲男		



支 部 名	諫早支部		
氏 名	みかじま ゆうじ 三ヶ島 雄二		
企 業 名	アイネスト 一級建築士事務所		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒854-0062 諫早市小船越町 1189-3		
T E L	0957-24-5161	F A X	0957-24-5161
業 種	建築設計事務所		
企 業 P R	みなさまに喜んでいただける空間創りを目指しています。		
スポンサー	松田 卓		



支 部 名	長崎支部 出島地区会		
氏 名	まつお しんご 松尾 真吾		
企 業 名	(株)松尾酒店		
役 職 名			
企 業 住 所	〒850-0853 長崎市浜町 6-22		
T E L	095-824-3131	F A X	095-824-3132
業 種	全酒類小売業		
企 業 P R	お酒とゴルフ(趣味)のことなら何でもお任せ下さい！ “吉岐オールド 松山英樹オリジナルラベル” 絶賛販売中です！		
スポンサー	山口 憲男		



支 部 名	佐世保支部		
氏 名	むらしま しんいちろう 村島 慎一郎		
企 業 名	(有)と～る企画		
役 職 名	専務取締役		
企 業 住 所	〒859-3722 東彼杵郡波佐見町岳辺田郷 1380-2		
T E L	0956-85-5804	F A X	0956-85-4795
業 種	屋外広告製作		
企 業 P R	あらゆるサインに取りくみます。		
スポンサー	山領 進		



支 部 名	大村支部		
氏 名	さしかた ひろあき 指方 宏彰		
企 業 名	(有)指方工務店		
役 職 名	専務取締役		
企 業 住 所	〒856-0812 大村市桜馬場 2-554		
T E L	0957-52-6316	F A X	0957-52-6602
業 種	建築工事業		
企 業 P R	設計から施工、リフォームからプラントまで建築業の万屋としてがんばります！		
スポンサー	北村 貴寿		



広告募集

< 4 cm x 9 cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

支 部 名	北松浦支部		
氏 名	うえのほら こうじ 上ノ原 宏二		
企 業 名	上ノ原製茶園		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒857-0337 北松浦郡佐々町八口免 1-11		
T E L	0956-63-2712	F A X	0956-62-6486
業 種	ながさき釜炒り茶栽培、製造販売		
企 業 P R	伝統製法の緑茶ながさき釜炒り茶を生産販売しています。 日本茶文化の継承のための活動を通して世の中に貢献いたします。		
スポンサー	池野 晋一		



<交代を伴う復会>

支 部 名	大村支部		
氏 名	やなせ みちとし 梁瀬 道利		
企 業 名	長崎インターナショナルホテル(株)		
役 職 名	営業部支配人		
企 業 住 所	〒856-0827 大村市水主町 1-973-1		
T E L	0957-52-1111	F A X	0957-52-6600
業 種	ホテル業		
企 業 P R	長崎空港そば、南欧風ホテル 長崎インターナショナルホテル ハウステンボスと長崎へのアクセス拠点		
スポンサー	大塚 真一		



支 部 名	北松浦支部		
氏 名	かもがわ ともみ 鴨川 智美		
企 業 名	ビューティーサロン START		
役 職 名	店長（代表者）		
企 業 住 所	〒857-1162 佐世保市卸本町 2-12		
T E L	0956-59-5666	F A X	0956-59-5666
業 種	エステ		
企 業 P R	「キレイで健康でいることは幸せになること」です。「あなたを幸せにしたい」という気持ちで、おつきあいさせていただいています。		
スポンサー	池野 晋一		



支 部 名	諫早支部		
氏 名	たくしま としたか 宅島 寿孝		
企 業 名	宅島建設(株)		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒854-0513 雲仙市小浜町南本町 7-22		
T E L	0957-75-0222	F A X	0957-74-5927
業 種	総合建築業		
企 業 P R	当社では、新築とリフォーム時のオール電化施工を中心に業務をおこなっております。当社の経験豊富なプロスタッフが皆様の住まいに関する夢をかなえる応援団になります！		
スポンサー	松尾 慶一		



支 部 名	五島支部		
氏 名	よねくら ゆきえ 米倉 幸枝		
企 業 名	エンドレス		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒853-0002 五島市中央町 3-18 2F		
T E L	0959-72-2501	F A X	
業 種	飲食業		
企 業 P R	おちついた雰囲気です。ゆったりおくつろぎいただけます。 五島へ来島の折はお立寄り下さい。		
スポンサー	辻 千穂子		



<復 会>

支 部 名	諫早支部		
氏 名	まえだ としひこ 前田 俊彦		
企 業 名	(有)ヤマトハウジング		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒854-0209 諫早市森山町上井牟田 1615		
T E L	0957-35-2338	F A X	0957-35-2349
業 種	建築工事業		
企 業 P R	住宅リフォームのことならおまかせ下さい。		
スポンサー	松田 卓、馬場 一信		



<交 代>

支 部 名	長崎支部 浦上地区会		
氏 名	やました しゅういち 山下 修一		
企 業 名	(株)クオリティ・ケア		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒850-0841 長崎市銅座町 7-18 リンクス銅座ビル 4F		
T E L	095-895-9871	F A X	095-895-9874
業 種	老人介護・デイサービス		
企 業 P R	常に感謝の気持ちを持ち、「生活のリズム造りのお手伝い」をモットーに介護の予防、介護に取り組んでいます。		
スポンサー	出口 一隆		



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。**A3チラシは2枚分**となります。
ご利用お待ちしております。



長崎県中小企業家同友会 第21回経営フォーラム2014

乗り遅れるな！

時代の波に

集え、中小企業の志士たちよ！今こそ進化のとき

2014年10月24日(金)

参加費：7,000 円 (懇親交流会費含む)

受付 12:00～ 記念講演 16:30～
分科会 13:00～ 懇親交流会 18:30～

会場：長崎ロイヤルチェスターホテル

〒852-8156 長崎県長崎市 赤迫 3-6-10

TEL：095-856-1101

■主催 長崎県中小企業家同友会

〒850-0875 長崎市栄町 1-20 大野ビル 5 階

TEL：095-822-0680 FAX：095-824-4623

URL：http://nagasaki.doyu.jp/

記念講演『ローソン再建に学ぶ企業経営』



都築富士男 氏

元ローソン・ジャパン社長
全日本農工商連携推進協議会 会長
内閣官房地域活性化伝道師
六次産業化プランナー

■経歴

スーパーマーケット・ダイエーに入社、主に食料品の仕入れに従事。アメリカ企業とダイエーの合併会社の取締役に就任し、アメリカ勤務。その後、コンビニエンス・ストア・ローソンの代表取締役役に就任。

倒産寸前のローソンを再建し、当時 80 店舗しかなかった店舗数を、在籍中 3000 店舗にまで拡大。

全国展開の日本を代表するコンビニエンス・チェーンに急成長させる。その後、上場会社の社長を経て独立。現在、「都築経営研究所」代表取締役として、コンサルティング、企業顧問、講演などを中心に活躍中。国産産物全国普及協会の専務理事として各地に産地村を組織化し、農業者への支援も行っている。

2008 年に設立された「全日本農・商・工連携推進協議会」の会長として、淘汰されつつある中小企業と崩壊の危機にある農業・農村の活性化の支援を行っている。

■講演テーマ

「ローソン再建に学ぶ企業経営」

経営者は、経営課題を明確にし、その課題を解決する仕組みをすることによって時代の変化に対応し、成長発展できます。経営課題を放置すれば、企業はやがて衰退する運命にあります。かつてローソンも経営課題を解決せずに放置して経営を続けたため出店を凍結し倒産の危機にありました。このローソンが日本を代表する優良会社に成長し、倒産の危機にあったダイエーの救世主と言われるまでになりました。経営課題をどのようにして、解決したか再建の全てをお話し致します。

9月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 9月26日(金) 午後6時30分
会 場 ギャラリーヘキサ
テ — マ 「私の事業承継 ～IT、始めました」
報 告 者 藤村昆布海産(有)、(株)カナル 代表取締役
藤原 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

長崎大学卒業後、東京のコンピュータ関連の会社に就職。
約2年間のサラリーマン生活ののち長崎に戻り、父親の会社「藤村昆布海産(有)」に就職。最初は不慣れで右も左も分からない状況でしたが、がむしゃらに働きいろいろなことが分かりました。さらに自分のIT技術の経験を活かし通販等のネット事業を導入。海産物の消費量も年々少しずつ落ち込んでおり海産物卸業の先細りが見えるので、本業がしっかりしているうちに新分野の会社「(株)カナル(IT関連)」の事業を立ち上げました。藤村氏の歴史と想い、そして一つの事業承継の形式について報告していただきます。

●長崎支部 出島地区会

日 時 9月25日(木) 午後6時
会 場 サンプリエール
テ — マ 未定
報 告 者 (有)エム・オー長崎 取締役
小川 久郎 会員

●大村支部

日 時 9月18日(木) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ — マ 「我社の人材育成の考え方は」
～今できる人材育成の基本と今後の対応について～
報 告 者 チェンジコンサルティング(同) パートナー
宇土 敏郎 会員

少子化・高齢化が進む今、人材育成と人材確保で未来に備えよ。
経営者のなすべき事とは？管理者の仕事とは？社員の仕事とは？
経営コンサルタントの視点から人材育成の考え方を報告いたします。

●諫早支部

日 時 9月24日(水) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ — マ 経営体験報告 会員は辞書の1ページです。第4弾
～当社はこんな仕事を行なっています。～
報 告 者 (有)大栄ハウジング 専務取締役
友永 俊介 会員

自社の紹介を第4弾として、会員に報告いただきます。
お互いの学びあいを「会員一人ひとりが先生であり、生徒でもある＝会員は辞書の1ページ」といっています。ですから、例会では「気楽に恥をかくつもりで」
進んで経営体験や課題を報告し、会員相互が共に考え、親身のアドバイスを受け、
経営体質改善、課題解決の糧としましょう。

+

●島原支部

日 時 9月17日(水) 午後7時
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ — マ 経営体験報告 第4弾 長崎同友会青年経営者会、
島原商工会議所青年部 参加例会
参加例会「価値観の違う親族からの事業継承」
～継ぐ側の葛藤と継がせる側の不安～
報 告 者 本多兄弟商会
本多 勝一郎 会員

大卒後、経営者になる夢を抱きながら都会で過ごした修業時代。
仕事に慣れ、責任が増えるにつれ、大組織の中には単なる一歯車ではない
事を学び、自分らしくある為に、生涯の情熱を注ぐ何かを模索する中で、家業の
お陰でそうめんを食べて身体が育ち、そうめんに生かされてきた事を思い出す。
親、地域、そうめん文化に感謝すると同時に、そうめんと共に生きる覚悟を決め
て帰省。将来、地域の子供たちが日本中に『島原半島はそうめんの街』だと胸を張っ
て叫べる地域づくりをしたいと日々願いながら奮闘する熱いそうめん男。
立ちはだかるのは方向性の違う現経営者の父と叔父。事業継承での悩みと共に
お話しいただきます。

●佐世保支部

日 時 調整中
会 場 未定
テ — マ 未定
報 告 者 (有)マコト測量設計 代表取締役
設楽 誠 会員(五島支部)

●北松浦支部

日 時 9月25日(木) 午後7時
会 場 未定
テ — マ 経営体験報告
報 告 者 トマトハウス 代表者
山之内 英樹 会員

今回は新入会員の山之内会員に成り立ちや現状、問題点や今後の展望をお話し
いただきます。

●五島支部

日 時 調整中
会 場 未定
テ — マ 未定
報 告 者 (有)エス・ケイ・フーズ 取締役
中村 こすえ 会員(長崎支部 出島地区会)

●青年経営者会

日 時 9月17日(水) 午後7時
会 場 HOTEL シーサイド島原
内 容 島原支部合同例会

島原支部の例会に参加させていただき、交流をはかります。

8月理事会 議事録 抜粋

8月7日(木) 18:00 サンプリエール
出席者 19名 欠席者 4名

1) 仲間づくりについて

【8月1日現在】

	入会受付	復会	入会手続待ち	受付含
長 崎	11	0	0	208
(浦 上)	2	0	0	116
(出 島)	9	0	0	92
大 村	2	1	0	61
諫 早	3	2	0	62
島 原	0	0	0	38
佐 世 保	3	0	0	104
北 松 浦	2	2	1	39
五 島	1	0	0	25
合 計	22	5	1	537

杉本仲間づくり委員長総括ー第4回増強期間(WEEK)結果発表
増強WEEKは大変お疲れさまでした。今まで撒いてきた種が育ち、刈り取りすることができた1週間になりました。今月は22名の入会と5名の復会となり、皆様のご協力ありがとうございました。今回の増強WEEK集計の結果、最優秀支部賞は諫早支部、スポンサー賞1位 松尾慶一さん、スポンサー賞2位 山口憲男さん、スポンサー賞3位 池野晋一さんとなりました。

2) 例会について(更なる例会の充実を目指して)ー尾崎例会委員長

→他支部報告者の増加が顕著にみられ、いい傾向。秋口から年末にかけて毎年例会出席率も下がってくるため、各支部対応をお願いします

3) 女性部会発足に向けて

→8月29日(金)女性部発足準備会の開催を報告

4) 2015年度代表理事選考委員会について

→規定に則り8月に推薦・自薦を募り、9月理事会前に第1回理事選考委員会を開催予定
※各支部過半数の回答をお願いします

5) 特許庁知的財産セミナーについて

→経営・労務担当委員会にて9月セミナーを企画予定

6) 内外情勢調査会参加報告

松尾代表の代理として峰が出席。中村知事より県政に関する報告をいただく

7) 中小企業家同友会会員之章シール配布について

→広報誌とともに発送済み。2枚目以降申し込みも受付中

8) その他

→長崎同友会のページが県年鑑に掲載。興味がある方は事務局へお越しください。また、e-doyu掲示板にて該当ページの掲載も検討

決議事項確認

- ・22名の入会、5名の復会、1名の交代、4名の退会を承認
- ・ダイヤモンドクラブから名誉会員、功労会員に関する提案について、支部役員会で未協議の支部は引き続き協議。三役会案に対し、ダイヤモンドクラブ会長含め役員に相談後、ダイヤモンドクラブにて再度協議する。
- ・外形標準課税拡大適用に関するアクションについて、9月末までに3万名の署名を目指すことを承認。

各支部・地区会の目標署名数

浦上地区会：7,000名、出島地区会：6,000名、大村支部：4,000名、諫早支部：4,000名、島原支部：3,000名、佐世保支部：6,000名、北松浦支部：3,000名、五島支部：2,000名

署名用紙に関しては事務局より持参する。署名対象者は納税者とする

- ・中小企業家同友会ポスター作製について投票を行いポスターデザイン案が決定。印刷コンペに関しては全会員にFAXを送ることを承認
- ・第21回経営フォーラムについて、チラシ、予算案、全体タイムスケジュール、分科会設営方法、チアリーディングを承認。名刺広告に関して外部広告、カラー広告等の意見も出たが、現状通りで進めることを確認
- ・事務局について、健康診断の内容に関して再検討
- ・諫早支部20周年記念式典について動員に向けて各支部の目標数を諫早支部よりメーリングすることを確認
- ・情報広報委員会よりHPリニューアルに伴い、個人情報保護に関するアンケートを作成、事務局より配信することを確認

次回日程ー9月4日(木) 19:00～ つくば倶楽部

会員消息

●会社名役職変更

上原 一真 会員 (長崎支部・出島地区会)
新社名：(株) オフィスサポート

橋口 久 会員 (佐世保支部)
新役職：代表取締役専務

●会社住所等変更

永田 勝美 会員 (長崎支部・浦上地区会)
新住所：〒852-8153
長崎市花丘町13-19

新役職：理事
新電話番号：095-848-9171
新FAX番号：095-848-5546

山口 憲男 会員 (長崎支部・出島地区会)
新FAX番号：095-829-3386

古里 学 会員 (長崎支部・出島地区会)
新住所：〒852-8137
長崎市若葉町13-9

清水 政臣 会員 (諫早支部)
新住所：〒854-0077
諫早市白岩町41-11
新電話番号：0957-87-4799
新FAX番号：0957-47-9912

会 員 数 (8月1日現在)

	長 崎	(浦上)	(出島)	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	227	127	100	67	80	50	120	40	40	624
期首	201	115	86	57	54	40	99	33	25	509
現在	197	114	83	58	57	38	101	34	24	509

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会員名	支部・地区会名	入会年月
ウエディングアイ	池田 いづみ	長 崎 ・ 出 島	2012年 6月
珠企画	河 津 由 佳	島 原	2012年10月
(株) エスコート	坂口 耐知朗	佐 世 保	2011年 3月
朝日環境 (株)	永淵 公太郎	佐 世 保	2013年 8月